

3課 イエス様のたとえ（マタイ 13:10-13）

フォーラムのポイント 「あなたがた と かれら」

イエス様が、なぜたとえを使って話されたかを直接語られたのがマタイ 13:10-13 の内容です。

マタイ 13:10-13

10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに言った。「なぜ、彼らにたとえでお話しになったのですか。」

11 イエスは答えて言われた。「あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていません。」

12 というのは、持っている者はさらに与えられて豊かになり、持たない者は持っているものまでも取り上げられてしまうからです。

13 わたしが彼らにたとえで話すのは、彼らは見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、また、悟ることもしないからです。

ここで言われているように、二種類の人があります。

「聞いて、見て、悟る人」＝「あなたがた」と

「聞いても見ても悟ることができない人」＝「彼ら」がいます。

ここで「あなたがた」と言われているのは弟子です。

「彼ら」はここに集まっていた「たくさんの群衆」です。

13章のイエス様がたとえを語られた前の12章の最後の部分で、「わたしの母とはだれですか。また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」つまり、だれがイエス様の家族なのかと言われます。そして、天国の家族とは、この福音を悟れる人たちだと、13章でたとえで話されました。

13章の1節2節には、「その日、イエスは家を出て、湖のほとりにすわっておられた。すると、大ぜいの群衆がみもとに集まった…」と書いてあります。この「大ぜいの群衆」の中にみことばを悟れる人と、悟れない人がいたのです。そこで、弟子たちが「なぜ、彼らにたとえでお話しになったのですか。」と尋ねたのですが、その大ぜいの群衆の中にいる「彼ら」は悟れない者で、「あなたがた」は悟る者だということを言われました。




レムナントたちには、少しむずかしいかもしれませんが、神学的な用語で「選択」と「遺棄」という内容があります。「選択」は「あなたがた」で、「遺棄」は「彼ら」のことです。

辞書での意味は

「選択」とは「多くのものの中から、よいもの、目的にかなうものなどを選ぶこと」

「遺棄」とは「捨てて顧みないこと。置き去りにすること」です。



こんにち　　きょうかい　　なか　　ひとひと　　きょうかい　　なか　　ひと　　せんたく
 今日の教会の中にも、そのような人々がいます。教会の中にいる人は「選択」され
 た人で、教会の外にいる人は「遺棄」された人だということではありません。教会の中
 には、「選択」と「遺棄」がともにいます。私たちは、それがだれなのかは知ることではで
 きません。



「^{てん}天の^{みくに}御国は、^{ひと}こういう^{ひと}人に^{じぶん}たとえる^{はたけ}ことができます。ある^よ人が^{たね}自分の^ま畑に^い良い^い種を^い蒔いた。」^いと言われてい

ます。^{かみさま}神様が、^よすでに^{はじ}世の^{えら}初めから^{てん}選ばれた^{みくに}天の^{はいる}御国^{もの}に入^うる^う者たちを、^ちこの^う地に^う植えられた^うということです。

そのあとの聖句を見ると、ある日、見たらそこに毒麦が育っていたのです。

28節を見ると「主人は言った。『敵のやったことです。』」つまりサタン（悪魔）がやったのです。

良い種と毒麦は、最初から区別されていました。

残りのたとえを通して私たちが悟るべきなのは、私たちの救いは、私たちの熱心、努力など、私たちが義と認められることは、ひとつもなく、すべては神様の選択と、神様ご自身の熱心によって救われたということです。それをたえで説明されているのです。ですから、私たちが関心を持つべきなのは、だれが良い地なのか、だれが岩地、いばらの地なのかということではありません。岩地やいばらのような地でしかない私を、神様が良い地として召してくださったことに感謝すべきです。

ローマ 3:10 には「義人はいない。ひとりもない。」とされています。Nobody、私たちの状態です。

ローマ 3:10-12

10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。」

11 悟りのある人はいない。神を求める人はいない。

12 すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。ひとりもない。」



ローマ 10:23-24

23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、

24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる 贖いのゆえに、 儼なしに義と認められるのです。

私たちは罪人としてこの世にきました。

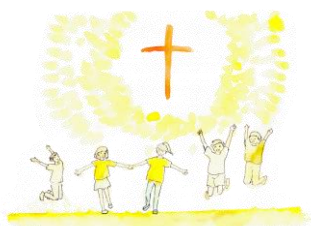
私たちの救いは、神様の恵みにより、キリスト・イエスの十字架によってなされるのです。

すべての人が岩地であり、いばらの地でした。神様が 私たちを選択してくださって、良い種が育つ良い地としてくださったのです。

マタイ 13:51 に大事なことが出て来ます。

51 あなたがたは、これらのことがみなわかりましたか。」彼らは「はい」とイエスに言った。

福音のみことばを悟ることができ、イエスがキリストだと告白し、聖霊が私の内にともおられることを信じる 私たちは、この世を生きる中で、その救いの恵みに感謝と賛美をささげる生活をすればよいのです。そのような人を通して、伝道の門、宣教の門を神様が開いてくださいます。



私たちが「あなたがた」とイエス様が呼ばれるところに属していることに感謝する一週間になりますように。